

製品名: PKR ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21097**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,IHC 1:100-1:500,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:62kD;Observed MW:62kD

抗原情報

遺伝子名	EIF2AK2
別名	EIF2AK2;PKR;PRKR;Interferon-induced,double-stranded RNA-activated protein kinase;Eukaryotic translation initiation factor 2-alpha kinase 2;eIF-2A protein kinase 2;Interferon-inducible RNA-dependent protein kinase;P1/eIF-2A protein k
遺伝子 ID	5610.0
SwissProt ID	P19525
免疫原	標的タンパク質に対応する合成ペプチド

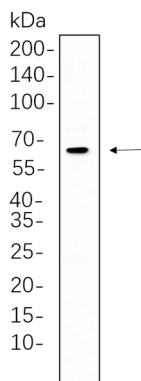
背景

細胞局在：細胞質。核。細胞質、核周縁領域。急性白血病、骨髓異形成症候群（MDS）、黒色腫、乳がん、大腸がん、前立腺がん、肺がんの患者検体または細胞株、ならびに進行期クロイツフェルト・ヤコブ病患者の神経細胞において、核局在が亢進している。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、セリン/スレオニンプロテインキナーゼであり、dsRNAに結合した後に自己リン酸化によって活性化される。活性化されたタンパク質は、翻訳開始因子 EIF2S1 をリン酸化することができ、その結果、タンパク質合成が阻害される。このタンパク質はマンガンイオンおよびヘパリンによっても活性化される。この遺伝子には、2つの異なるアイソフォームをコードする3つの転写バリエーションが見ついている。[RefSeq 提供、2011年10月]

研究分野

-

画像データ



K562 全細胞ライセートを 10% SDS-PAGE で分離し、膜を PKR ウサギモノクローナル抗体 (1:1000) でブロットニングした。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG(H + L)抗体を用いた。